

議決権行使レポート

証券コード 9070

会社名 トナミホールディングス

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分	○		
第2号議案 取締役の選任			
高田 和夫 氏		○	
高田 一哉 氏	○		
佐藤 公昭 氏	○		
小島 鉄也 氏	○		
高柳 幸司 氏	○		
犬島 伸一郎 氏	○		
早水 暢哉 氏	○		
笠井 千秋 氏	○		
第3号議案 監査役の選任			
松村 篤樹 氏	○		
尾田 利之 氏	○		
第4号議案 補欠監査役の選任			
石井 教文 氏	○		
第5号議案 取締役に対する譲渡制限付株式の付与の ための報酬決定	○		
第6号議案 当社株式の大量取得行為に関する対応策 (買収防衛策)の更新		○	

上記の推奨をした理由

ISSの議決権行使助言基準及びりそなアセットマネジメントの議決権に関する行使基準を参考に賛成・反対を考えていく。

剰余金の処分について。トナミホールディングスの過去5年の配当性向は安定して20%前後を推移していて高すぎず低すぎないので賛成とする。

取締役の選任について。過去5年の自己資本利益率(ROE)は平均して5%を上回っており、社外取締役の数も取締役の数の3分の1以上を占めていてこれらの点では基準を満たしている。また、社外取締役の前年度の取締役会出席回数が高いのも良い。しかし、女性

の取締役が一人もいないことを考慮して経営トップである高田和夫氏のみ反対とする。

監査役の選任について。ISSの独立性基準を満たしており、監査役会への出席率も高いため2名とも賛成とする。補欠監査役の選任についても同様とする。

取締役に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬決定について。譲渡制限期間が2年以上であるためりそなアセットマネジメントが示す基準に基づいて賛成とする。

当社株式の大量取得行為に関する対応策(買収防衛策)の更新について。ISSが示す形式審査、個別審査に照らし合わせた結果、それらを満たしていないと判断し反対とする。